

令和5年度島根県少年スポーツ指導者セミナー

日時 令和5年6月17日(土) 10:30~14:30

会場 島根県職員会館

参加者 23名

概要

県内の少年期のスポーツ指導に携わる指導者の資質向上を図るため、安田式体育遊び研究所所長の居関達彦氏を招請し研修会を実施した。今回はコロナもあけ、座学だけでなく実技も行った。

午前中は実際に行っている映像を中心に講演された。映像では、色々なパターンのリレーを行い、ただ走るだけでなく、ケンケンや横転動作を加えるなど様々な動きを取り入れることが重要である。

同世代の子ども達だけでなく、小学生や中学生も入れることで、幅広い世代と交流できる。一人ではなく皆でやるから意味がある。また、ヘラヘラ、ワイワイ楽しくやる事が大切。楽しいから熱中し、自ら育つ。今の子ども達は情報が入りやすく、経験をしにくい環境にある。成功も失敗も情報からでは伝わらないなど、ご自身の経験を通して講演いただいた。

午後からの実技では、超短距離でのリレーや玉入れの玉を利用した遊びを行った。赤白の玉を投げ、手のひらで打ち返す動作で、玉との距離感を学ぶことができる。また、手のひらだけでなく手の甲でも同様に行うことで、両方の間隔を鍛えることができる。両方のバランスを考え得意な方だけ行わない。子ども達の中には、なかなか出来ない子もいる、その際は教えているつもりで指摘をしない。褒めることから学ばせることが大切。例えば、上手く出来ている子を前に出して、目で見て学ばせることができる。その機会を与える。

今回の研修会では、現場ですぐ実践できる内容であった。今後、講演いただいた内容を各指導現場で活かして欲しい。

